

## 会議録

令和 3 年 11 月 24 日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和 3 年度第 3 回定例会
開催日時	令和 3 年 9 月 15 日(水) 18 時 30 分から 20 時 30 分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、ギログリー江美(副会長)、荒井茂、谷関幸子、小須田厚子、海老澤裕恵、石川健、青木美紀子、渡部國夫、小沼純子、荒井容子、高井正 職員：高田館長、山本事業係長、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、市川事業係主査、星野事業係主査
欠席者	三沢英俊 中嶋太 國府方館長補佐(田無分館長)
議題	1 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告 2 主催事業について (1) 令和 3 年度公民館主催事業報告(資料 2) (2) 令和 3 年度公民館主催事業計画(資料 3) 3 審議事項 (1) 令和 2 年度西東京市公民館事業評価について 4 事務連絡及び情報交換 (1) 利用者懇談会の中止について (2) 田無公民館耐震補強等改修工事について (3) 「田無公民館つうしん」について (4) 公共施設等総合管理計画の改定等に向けた公共施設の関係団体アンケートについて (5) 令和 3 年度定例会開催日程の変更について(資料 4) (6) 今後の定例会開催日程について ア 第 4 回定例会 日時:10 月 6 日(水) 午後 7 時から 場所:柳沢公民館 視聴覚室 イ 第 5 回定例会 日時:10 月 27 日(水) 午後 6 時 30 分から 場所:柳沢公民館 視聴覚室 5 その他
会議資料の名称	【配布資料】 資料 1 令和 3 年度第 2 回定例会会議録 資料 2 令和 3 年度公民館主催事業報告書 資料 3 令和 3 年度公民館主催事業計画書 資料 4 令和 3 年度西東京市公民館運営審議会定例会開催日程(案)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 1 人
会議内容	

## 1 報告事項

### (1) 行政報告

#### ○公民館長

西東京市議会令和3年第2回定例会について。議会初日に中央図書館・田無公民館耐震補強等改修工事請負契約締結の議案が議決された。予算特別委員会において、保谷駅前公民館で令和元年度から実施している不登校に関する講座について、今年度はどのように実施するのかとの質問があった。今年度は10月以降に全4回の連続講座を実施する予定であり、市民ニーズに合った内容とするよう、毎月準備会を行い検討をすすめていると答弁した。

教育委員会について。7月27日開催の第7回定例会において、西東京市公民館設置及び管理等に関する条例施行規則第22条に基づき、令和3年度公民館事業計画について報告した。委員から、大人を対象とした情報リテラシーの講座を実施してほしいとの意見があった。8月17日開催の第8回定例会はオンライン会議システムを利用して開催された。公民館からは令和2年度公民館事業実績の報告を行ったが、特に質問はなかった。

### (2) 公民館だより編集室報告

#### ○A委員

公民館だよりは今年度も2面が10回、4面が2回の発行となっている。

7月の編集室会議で11月1日号を4面にすると決定し、1面特集企画班、歴史コラム班、公民館に関するコラム班の3班に分かれて原稿を作成することになった。1面特集では、いまの若者が何を考え社会をどう見ているのかということについて取り上げ、既に9月1日に取材を行い、現在原稿作成中。歴史コラムは、駅をキーワードに周辺スポットの歴史や由来などを紹介するコーナーで、11月1日号では保谷駅を取り上げる。今後、紙面にゆとりがある号に掲載し、市内5駅を紹介したいと考えている。公民館に関するコラムについては、来月の編集室会議で内容を検討する。7月以降、毎月編集室会議を開催して、各班の進捗状況の報告と原稿について検討する形で進めている。

### (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

#### ○司会（会長）

東京都公民館連絡協議会（略称「都公連」）委員部会運営委員会については、第3回が6月16日、第4回が7月29日に日野市中央公民館で開催された。議事録作成方法、情報交換テーマと進め方、令和3年度都公連委員部会第1回研修会などについて協議した。

#### ●都公連担当としてB委員を追加決定。

## 2 主催事業について

### (1) 令和3年度公民館主催事業報告（資料2）

### (2) 令和3年度公民館主催事業計画（資料3）

#### ○公民館長

7月、8月開催予定だった定例会の中止に伴い、委員の皆様には主催事業に関しての意見を求めたところ、西原会長より感想を頂戴したので紹介する。

「中学生・高校生対象講座『K-POPをカッコよく踊ろう!』（柳沢）は、青少年を対象にした意欲的試み。けいおん講座とともにその進展に期待したい。インクルーシブな社会をめざす講座『ボッチャでなかまづくり in 西東京』（谷戸）は、谷戸公民館で続けられている障がいの有無を超えた交流を目指した講座で、サークル化できるか注目したい。同様の講座からサークル化したトーンチャイムサークルが、地域で活動できていることを含め、この取り組みに期待したい。現代的課題を考える講座『ゆっくりと未来に向かおうパート3』（保谷駅前）は、パート3まできている私の注目する講座だ。今回は5回目を守矢講師による進路相談の個別面談として企画されているが、ぜひ多くの生徒や親子に利用してもらいたい。」

#### ○B委員

講座の申し込み方法について、申込順と抽選のものがあるが、基準はあるのか。

#### ○C委員

家庭の教育力向上講座「ゆらぐココロのヒアリング～これでいい!と思える自分へ～」（柳

沢)について、サークルとの準備会を5回実施していることを大変評価する。準備会参加者が講座の運営にはかかわる予定はあるのか。

○事業係長

申し込み方法について、講座の内容により担当者が判断して決めている。

家庭の教育力向上講座(柳沢)について、第5回の進行を準備会参加者をお願いしている。

### 3 審議事項

#### (1)令和2年度西東京市公民館事業評価について

○事業係主査

公民館事業評価については、公民館が行う一次評価と公運審が行う二次評価がある。評価表は、評価項目、評価区分、評価内容、実績指標、実績から構成されている。4つの評価項目ごとに具体的な評価内容が定められ、さらに、評価内容を評価する際の実績指標が示されている。実績をもとに公民館が行った一次評価をふまえて二次評価を行っていただきたい。また、公民館事業評価については、1月開催の教育委員会への報告を予定しているので、12月定例会までに二次評価をまとめていただきたい。

○司会(会長)

12月定例会までに公運審で二次評価をまとめることになるが、どのような方法で事業評価を行うかを検討したい。過去の公運審の例を紹介すると、第8、9期は担当を選出し、担当委員が作成した案を全員で検討した。第10期は全員で評価作業を行った。

○D委員

第8、9期の時に特に問題がなかったのであれば、現在は大勢が集まることを控えることが必要な時期なので、担当委員が案を作成する方法が良いと思う。

○B委員

第10期では全員で行ったことにより一体感が出たというメリットがあった。グループに分けてもよいので全員参加が良いと思う。

○C委員

第10期では定例会以外に3回の事業評価に関する会議があった。関係性を作る上でも色々な方の意見を聞くことができよかったので、できるだけみんなという形が良いと思う。

○E委員

皆さんと一緒にやるのが良いと思う。

○F委員

目安として、定例会以外に何回くらいの会議が必要となるのか。

○司会(会長)

大体3回程度と考えている。

他に意見がなければ、集まることができる方が集まって全員で行うということにしたいがよいか。\*了承される。

○G委員

事業評価表について、実績指標の根拠は何か。

○事業係主査

現在の事業評価表の実績指標は、平成23年4月に出された公運審の答申をふまえて、職員と公運審委員からなる事業評価検討委員会で検討を重ね、平成26年度に決定したものが基になっている。

○F委員

二次評価の視点、基本的な考え方はどのように考えたらよいのか。

○司会(会長)

公民館をより良くしていこうという視点である。

○C委員

より良い公民館としていくために、私は批判的な友人でありたいと考えている。大切な相手には良くなってほしいという気持ちから忌憚のない意見を言うということだ。事業評価については是々非々の評価をするという姿勢でいる。

○F委員

昨年度の事業評価では、一次評価でAを付けているものを二次評価でCにしている項目があり、批判的な立場での評価と感じた。ABCという評価よりも各事業の中身をきちんと吟味していかないといけないと感じた。

○C委員

一次評価でAとしている項目を二次評価でCにすることは大きな意味があるので、ずいぶん議論をしたところである。

○公民館長

一次評価がAで二次評価がCとなった事業は公民館だよりだが、教育委員会では、人事や職員体制などの市の組織についての意見があるのであれば、それを事業評価の根拠にするのではなく付帯意見などで対応し、事業評価はあくまでも事業内容についての評価を行うことが望まれるとの意見が出た。

○G委員

二次評価の進め方については、事業評価表に記載されていることだけに基づくのではなく、直接職員とやり取りをして行うことが必要だと感じている。

○司会（会長）

異論がないので、職員の説明を受けながら二次評価を進めていくことにする。

#### 4 事務連絡及び情報交換

##### (1)利用者懇談会の中止について

○公民館長

利用者懇談会は、通常9月と3月の年2回実施しているが、緊急事態宣言下で新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から9月の利用者懇談会を中止した。利用者懇談会に代わるものとして、来年度事業や公民館運営に関する意見・要望聴取のためのアンケートボックスを館内に設置し、公民館だよりと館内ポスターで広報した。

##### (2)田無公民館耐震補強等改修工事について

○公民館長

田無公民館は築45年を超えており、現在、耐震改修補強工事を行っている。併せて設備の更新としてトイレ改修、照明のLED化、空調設備の更新と利便性の向上を図るために1階ロビー拡張と学習コーナー・授乳室の設置、3階に活動室の増設、地下実習室の調理台の更新などを予定している。

○E委員

地下一階実習室の木製の作業台はどうなるのか。

○公民館長

そのまま使用する。

##### (3)「田無公民館つうしん」について

○公民館長

田無公民館では「田無公民館つうしん」を月1回以上発行し、改修工事の状況や利用団体の活動などについての情報提供を行っている。休館中、田無公民館利用団体をつなぐ役割を果たすものと考えている。

##### (4)公共施設等総合管理計画の改定等に向けた公共施設の関係団体アンケートについて

○司会（会長）

市の公共施設マネジメント課から依頼された公共施設等総合管理計画の改定等に向けた公共施設の関係団体アンケートについて、集約のための会議に参加した委員で、各委員から寄せられた意見をもとにまとめた回答案を配布した。様々な意見がほぼ網羅されているものと認識している。特に意見等がなければ、公運審の回答として公共施設マネジメント課に提出し、集約作業に携わった委員で課のヒアリングを受けたい。 \*了承される。

**(5)令和3年度定例会開催日程の変更について(資料4)**

○公民館長

7月と8月の定例会が中止となったため、定例会日程を変更し10月6日と12月15日に追加して定例会を開催する。

**(6)今後の定例会**

ア 第4回定例会

日時:10月6日(水)午後7時から

場所:柳沢公民館 視聴覚室

イ 第5回定例会

日時:10月27日(水)午後6時30分から

場所:柳沢公民館 視聴覚室

**5 その他**

○B委員

各公民館ごとに「田無公民館つうしん」と同様のものがあるとサークル同士の交流や紹介にもつながるので広がっていったらよいと思う。

○C委員

「田無公民館つうしん」の発行はとてもよい取り組みだ。

○F委員

コロナ禍に各公民館は非常に丁寧に対応し、保育付き講座をはじめとした主催講座も十分注意して慎重に開催している。今後も引き続き今の状態を継続してほしい。応援している。